

基礎科目群

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
生活工学概論A	○		1			○		3学期
生活工学概論B		○	1			○		1学期
生活工学物理化学		○		1				
生活工学計測論（センサ工学）	○			1				
生活工学計測論（電子・制御工学）		○		1				
生活工学計測論（生活空間）	○			1				
生活工学材料解析論	○			1				
生活工学特別講義A	○			1		○		
生活工学特別講義B		○		1		○		
研究者倫理		○	1			○		前学期集中
技術者倫理	○		1			○		後学期集中
知的財産論		○		1		○		

専門科目群

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
繊維構造論	○			2		○		
繊維構造論演習	○			2			○	
繊維構造解析論	○			2		○		
繊維構造解析論演習	○			2			○	
分子デザイン論	○			2		○		
分子デザイン論演習	○			2			○	
衣環境材料学	○			2		○		
衣環境材料学演習	○			2			○	
衣住機能材料特論		○		2		○		
衣住機能材料演習		○		2			○	
衣環境学特論		○		2		○		
衣環境学演習		○		2			○	
生活メディア情報論	○			2		○		
生活メディア情報論演習	○			2			○	
データ解析論	○			2		○		
データ解析論演習	○			2			○	
衣環境情報処理論	○			2		○		
衣環境情報処理論演習	○			2			○	
生活医用福祉工学		○		2		○		演習
生活生体工学		○		2		○		
身体行動計測特論		○		2		○		
身体行動計測演習		○		2			○	

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
環境人間工学特論	○			2		○		
環境人間工学演習	○			2			○	
住環境管理論	○			2		○		
住環境管理論演習	○			2			○	
居住空間再生論	○			2		○		
居住空間再生論演習	○			2			○	
建築意匠特論		○		2		○		
空間デザイン演習		○		2			○	
建築環境計画特論		○		2		○		
施設デザイン演習		○		2			○	
居住空間環境学特論		○		2		○		
環境デザイン演習		○		2			○	
都市デザイン特論		○		2		○		
都市デザイン演習		○		2			○	
環境工学特論		○		2		○		
環境工学演習		○		2			○	
環境評価学特論		○		2		○		
環境評価学演習		○		2			○	
人体計測学特論		○		2		○		隔年開講
第四紀学特論		○		2		○		隔年開講

創発演習

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考 履修登録は
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
生活工学創発演習（基礎） AI	○			1			○	M1前期
生活工学創発演習（基礎） AII	○			1			○	M1後期
生活工学創発演習（発展） AI	○			1			○	M2前期
生活工学創発演習（発展） AII	○			1			○	M2後期
生活工学創発演習（基礎） BI		○		1			○	M1前期
生活工学創発演習（基礎） BII		○		1			○	M1後期
生活工学創発演習（発展） BI		○		1			○	M2前期
生活工学創発演習（発展） BII		○		1			○	M2後期

選択科目だが、原則として全員が履修してください。

事情により履修できない場合は、個別に指導教員と相談すること。
その場合、大学単位数の規定に注意が必要となる。

専門応用科目群 ②

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
生活工学デザインワークショップ (LIDEE)		○		2			○	
Project Based Learning A	○			2			○	隔年開講
Project Based Learning B		○		2			○	隔年開講
生活空間特別演習	○			1			○	隔年開講
生活メディア情報処理演習	○			1			○	隔年開講
生活工学モデリング演習		○		1			○	
研究計画演習		○		1			○	

授業科目	開講		単位数			授業形態		備考
	奈良女	お茶女	必修	選択	自由	講義	演習	
生活工学インターンシップ	○	○		2			○	
住環境学インターンシップⅠ*					2		○	
住環境学インターンシップⅡ*					2		○	

* 住環境学インターンシップⅠ、住環境学インターンシップⅡは、合わせて2単位のみ終了に必要な単位数に算入することができる。

生活工学特別研究（修士）

授業科目	開講		単位数		
	奈良 女	お茶 女	必修	選択	自由
生活工学特別研究（修士）	○	○	10		

※修了予定年次（M2）に履修登録

- **1名の主指導教員**、ならびに**2名の副指導教員**（**奈女大教員1名、お茶大教員1名**）を決める必要があります。

生活工学特別研究（修士）の判定基準

1. 生活工学の領域において、新規性、進歩性、有用性、独創性のいずれかが含まれること。
2. 十分な文献調査や研究活動調査に基づくこと。
3. 研究手法や解析手法等が適切なものであること。
4. 論文としての体裁が整っていること。
5. 一定水準以上の学術レベルの研究成果が示されたこと。
6. 修論発表会（論文審査会）において、研究内容を適切に発表し、質疑に正確に答えられたこと。